



ま・Navi 誌

春号
vol.27

第10回まちづくり市民大会が 開催されました



2月24日(日)に第10回鹿嶋市まちづくり市民大会が大野まちづくりセンターで開催されました。第一部ではまちづくり市民・団体表彰、第二部では「集落・自治会別防災マニュアルと自治会の活性化」についてシンポジウムが行われました。

今回のまちづくり市民大会では、昨年9月から12月にかけて各自治会代表者みなさんにお集まりいただき実施した「まちづくり講座」で作成された集落・自治会別防災マニュアルを湖岸・高台・海岸の3地区に発表していただきました。

シンポジウムはコーディネーターに佐々木一如氏(明治大学大学院ガバナンス研究科特任講師)、コメンテーターに砂金祐年氏(常磐大学コミュニティ振興学部准教授)を迎え、パネリストとして発表地区代表3名、さらに廣岡洋治氏(鹿嶋市区長会長)・平川義三氏(鉢形北区防災会長)・松本昇氏(鹿嶋市まちづくり連絡協議会長)と鹿嶋市担当部長2名の計10名により行われました。

今回の大会では、避難活動・避難所での助け合い、集落・自治会別防災マニュアルに基づく防災訓練の定期的な開催、防災マニュアルの定期的な更新などの防災に関わる話し合いばかりではなく、地域コミュニティの形成、ご近所の基礎体力(※)の向上など、集落・自治会の活性化に向けた活動について熱心に話し合われました。

※ご近所の基礎体力とは？

- ①住民同士の信頼関係がある。(信頼)
- ②住民同士の交流がある。(交流)
- ③地域の問題に自分たちで取り組む。(積極性)

地域防災は自治会の活性化から

昨年9月から12月にかけて行ったまちづくり講座で作成した集落・自治会別防災マニュアルを高台・湖岸・海岸の3地区の代表者がまちづくり市民大会で発表しました。

いつでも助け合う環境を

高台地区 荒野台区

荒野台第1区長
中原 登志喜氏



荒野台自治連合会は大洗鹿島線の荒野台駅を中心に発達した住宅地で、現在は荒野台第1区～3区の行政区で構成しています。

3.11の教訓に基づき、荒野台区自主防災会が設立され、「出来る人が、出来る時に、出来ることを」をコンセプトに活動しています。

今回の防災マニュアルは以前作成したもののダイジェスト版として整備して配布するとともに区役員変更時などには修正版がつくれるようにしています。

自治会の活動は「あいさつ」から始まり、「災害があっても、なくても、いつでも助け合う環境を!」を合言葉に活動を進めています。

想定にとらわれるな

湖岸地区 爪木区

爪木区長
額賀 清孝氏



爪木区は北浦に面した集落で、過去にも水害で多くの家庭が床下浸水の経験を持つ地域です。

水害、津波を想定した時に、まず高台にある浄水場に避難することがベストであると判断し、避難路などを区民で整備してきました。後日、防災の専門家に避難路を見てもらったところ「土砂くずれ」の危険を指摘され、現在は避難場所を城山周辺としています。このことにより、「思いこみ」「防災への想定事項」など自分たちの過信の危うさを実感しました。

今後は多くの専門家の意見を聞きながら安全安心の地域づくりを区民と協力して進めていきたいです。

地区の交流を深めることが大事

海岸地区 平井北区

平井北区副区長
大宮 健一郎氏



3.11では漁港の津波、液状化、地盤沈下による住宅の全半壊、下水道マンホールの隆起、道路の亀裂などにより交通にも大きな支障をきたしました。

そのような教訓を踏まえて防災マニュアルを作るとともに防災訓練等を公民館活動の一環として進めています。

自治会の活性化は、地区の行事を通して交流を深めることが大事です。多くの人々が参加する行事には公民館活動があります。地域の中心である公民館活動は準備段階から参加することによって自然と連帯感や親近感が生まれます。今後とも公民館の事業に参加することによって、地域のコミュニティが形成されるのではと思っています。

大会宣言

平成23年3月11日、私たちの郷土鹿嶋市は、延暦18年(799年)8月11日の鹿島浦の大津波から1212年ぶりの東日本大震災によって、甚大な被害を受けました。

東日本大震災は、多くの人々の生活を一変させるとともに、鹿嶋市民に多くの教訓をもたらしました。

いかなる時も、周囲の人を思いやり、人の心の痛みを自分の痛みと感じ、人の喜びも我がことのように喜ぶ。こうした人間と人間との結びつき、信頼関係こそが「絆」であり、日本人の心の原点なのだと思います。

未来を生きる子どもたちの笑顔が溢れ、信頼の絆で結ばれた安全で安心な地域社会であることは、鹿嶋市民すべての願いであります。

私たち市民一人ひとは、日頃から防災意識の高揚に努め、家庭における災害に対する備え、各種防災訓練への参加等を通して、地域の市民力・防災力を高めていかなければなりません。

ここに、まちづくり市民大会を契機として決意を新たにし、市民・事業者・行政が一丸となって災害に強い安全で安心な地域社会の形成を目指し、次の事項の実現に向けて全力を傾けることを宣言します。

- 一つ 3.11の教訓を生かし、鹿嶋市民はたくましく生き抜こう。
 - 一つ ご近所の基礎体力を高めるため、自治会活動を活性化しよう。
 - 一つ 人間尊重の意識を高め、互いに尊重し合い、安全安心に生活できる地域社会の実現を目指そう。
- 以上、宣言する。

平成25年2月24日
第10回 鹿嶋市まちづくり市民大会

茨城大学地域総合研究所 鹿嶋研究センター報告会

茨城大学地域総合研究所鹿嶋研究センター（センター長：斉藤義則教授）のまちづくり研究・実践活動報告会が12月15日に茨城大学で開催され、客員研究員4名がそれぞれの研究テーマや実践活動などについて報告いたしました。

同センターは2004年10月に同研究所の出先機関として設置され、「鹿嶋市のまちづくり」をテーマに調査研究を行っております。現在は14名の客員研究員が参加し、定例研究会を毎月1回開いております。今回は初めて水戸市で報告会を実施いたしました。

西岡邦彦研究員は、「鹿嶋のまちづくり、課題解決の一断面・生涯学習と鹿嶋神宮門前町の活性化」をテーマに、生涯学習の拠点として2006年4月に開設されたチャレンジショップ「鹿嶋人ギャラリー」などについて説明し、9年間のまちづくり実践活動を紹介しました。

また、村田浩伸研究員が「鹿嶋市における田園型文化スポーツタウンづくり」、中川憲一研究員が「鹿嶋市における『ミツパチプロジェクト』の展開」、田鍋一樹研究員が「鹿嶋研究センター発足経緯と特記的な研究実践活動」と題してそれぞれ報告しました。



▲報告会の様子

外国人による日本語 スピーチコンテスト

今回で12回目を迎え伝統ある「外国人による日本語スピーチコンテスト」が、2月17日（日）に鹿嶋勤労文化会館で行われました。アメリカ、カナダ、タイ、中国、韓国、フィリピンの出身の9名の方が明るくユーモアたっぷりに発表していました。

日本についての印象など、日本人が日ごろ気が付かない目線での内容が多く、会場に集まった多くの来場者の共感を得ていました。

日中間の友好促進を訴えた中国の許佳楠（シュカナン）さんには鹿嶋市国際交流協会会長から特別賞が贈られました。



▲特別賞を受賞した許佳楠さん

発表者	出身国	テマ	賞
イタクラ 板倉 アケミ 丹美	中国	言葉を学ぶ楽しさ	チャレンジ賞
パク 朴 ミンジョン 民正	韓国	転石苔を生ぜず	ハッスル賞
ナンシー オガワラ	カナダ	耳かき	ファミリー賞
ユサ 遊佐 プリッサナ	タイ	ばあちゃんと押し花	ファミリー賞
ジェシカゴードン	アメリカ	いちねんのへんか	ボランティア賞
シュ 許 カナン 佳楠	中国	寿司 武士 ドラえもん	フレンドリー賞 特別賞
ムーンゲウ ジャルワン	タイ	幸せって？	ハッピー賞
ポビー ネルソン	アメリカ	おとこのこ おんなのこ	ユーモア賞 若人賞
ターネートラルフ ジャスパー ベレズ	フィリピン	舌の力	サプライズ賞

楽しむと学んで、鹿嶋人の輪を広げる

ーかしま灘楽習塾第8期開講式ー

かしま灘楽習塾は4月から第8期を開講いたします。それに先立ちまして右記の日程で開講式を開催いたします。開講式終了後に行う塾祭では、第7期の成果発表の場となっております。歌や楽器演奏、ダンスなどの楽しいステージ発表となっておりますので、ご家族、お友達をお誘いの上、ご来場をお待ちしております。

日時 3月30日(土)
11:00(受付10:30~)

会場 鹿嶋勤労文化会館

費用 無料(全席自由席)

問合せ かしま灘楽習塾
TEL: 85-2601



▲昨年の尺八演奏の様子



▲昨年のフラダンス発表の様子

ステージ発表スケジュール

No.	講座名	教授名
1	フォークソングクラブ 洋楽の歌唱	高澤雄一
2	演歌だよ楽しく歌おう 演歌だよこぶしを作ろう	川島有紀
3	楽しく唄おう！日本の民謡	一瀬善雅
4	琴・三味線・十七絃の教室	鴨村弘子
5	尺八を楽しもう	三井香揚山
6	フォークダンス	山来恵子
7	抒情歌を楽しく歌おう	大野美恵
8	詩吟を楽しむ会	大槻光夫
9	スコティッシュカントリーダンス おどりましょう！SCD	篠塚昌子
10	美しく楽しいフラ入門	君和田ひろみ
11	腹式呼吸をマスターして歌いましょう ヴォーカル・アンサンブルを楽しもう	山本理恵子
12	楽しいハーモニカ 初めてのハーモニカ	高柳恵三
13	琴・三味線	森本けい子
14	太極拳で健康ライフ	根本範昭
15	お仕事帰りのフラダンス エンジョイフラ	竹内幸子
16	ピアノアンサンブル教室	田原優子

内モンゴルの地に日本の桜を

2003年よりNPO法人内モンゴル沙漠植林交流協会として、地球環境の悪化による砂漠化を食い止め、豊かな大地の復活と地域住民の生活向上に寄与することを目的に活動を始めました。

現在、活動10周年に向けて、桜の木の植林の準備を進めております。一人でも多くの方に関心を持っていただき、参加することによってあなたにとって良い心の変化があると思います。私たちとともに中国で活動してみませんか。

私たちの活動についてはホームページをご覧ください。
URL : <http://www1.odn.ne.jp/sabakusyokurin/>

◆沙漠防止活動交流ツアー

日時 5月9日(木)～14日(火)6日間
費用 約168,000円
(航空券・宿泊費・苗木協力金など含む)

申込 4月10日(水) 下記に電話・FAX・E-mail
問合せ NPO法人内モンゴル沙漠植林交流協会
TEL/FAX : 69-4539
E-mail : sabakusyokurin@rio.odn.ne.jp



英語を楽しもう!

NPO法人ニューライフカシマ21は、子育てと生涯学習をサポートしています。平成25年度は二つの新しい講座を開講いたします。私たちと一緒に英語を楽しみませんか? 詳しくは下記にお問い合わせください。

えいごでいっぽ

マザーグース(英語圏の童謡)を歌いながら遊び、子育てを通じた出会いの場、家庭での英語環境作りを目的としています。未就園児とその保護者が対象です。

大人向け英語のわらべ歌あそびの会

身体を動かしながら簡単な英語の歌を一緒に歌います。英語を楽しみたい方や、子育てやコミュニティ作りに興味のある大人を対象にしています。

期間 前期: 4月～9月
後期: 10月～平成26年3月

費用 5,500円/前期(全8回)
※教材費などは別途

問合せ NPO法人ニューライフカシマ21 事務局
TEL : 82-0793
E-mail : english@npo-nk21.org



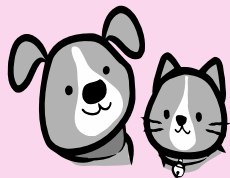
動物愛護推進委員だより

＜捨て犬猫ゼロの優しい鹿嶋へ＞

～平成23年度鹿嶋市捨て犬・猫
殺処分数(約230匹)からの脱出～

●安易に飼わない

犬猫の平均寿命は15、6年です。55歳以上の方が飼う場合は小型の成犬か成猫がお勧めです。60歳を過ぎると思わぬ大病で飼えなくなる事例が起きています。



●不幸な命をつくらない

不妊、去勢手術を受けさせましょう。

●放し飼いをやめる

他人の犬、猫を妊娠させたり、夜中に吠えて近所迷惑になる場合があります。

カシマカルチャーネット参加団体・関連施設

- | | | |
|-------------------|--------------------------|-----------------|
| ◇鹿嶋市文化協会 | ◇茨城大学地域総合研究所
鹿嶋研究センター | ◇鹿嶋勤労文化会館 |
| ◇鹿嶋市国際交流協会 | ◇鹿嶋市まちづくり市民懇話会 | ◇鹿嶋市どきどきセンター |
| ◇NPO法人かしまスポーツクラブ | ◇鹿嶋市まちづくり連絡協議会 | ◇カシマスポーツセンター |
| ◇NPO法人ニューライフカシマ21 | ◇かしま環境ネットワーク | ◇高松緑地体育館 |
| ◇かしま灘楽習塾 | ◇財団法人鹿嶋市文化スポーツ
振興事業団 | ◇高松温水プール |
| ◇NPO法人鹿嶋市体育協会 | | ◇鹿嶋市役所 |
| | | ◇鹿嶋市まちづくり市民センター |

編集・発行

カシマカルチャーネット事務局
(鹿嶋市まちづくり市民センター内)
住所: 鹿嶋市大字宮中4631-1
TEL : 0299-83-1551
FAX : 0299-83-1553
E-mail : machishimin1@city.ibaraki-kashima.lg.jp
ホームページ
<http://kashimashi.net/collabo/machishimin/>